



講演会

に関する



アルコール依存症になるのは、男性と女性、  
どちらが多い？ 治療方法や回復までの期間に男女差って  
あるの？ お酒の問題を巡って、女性のアルコール依存症治療に取り  
くんでいる専門医の視点で講演していただきます。

依存症の相談を受ける方、ご自分や家族の飲み方が気になっている方、どなたでもどうぞ！  
お酒が大好きな方は、お酒の楽しくない側面を知って、適切な飲み方を工夫しましょう。

2020年11月11日（水）

午後1時半～3時半（1時開場）

@矯風会館1階ホール（裏面に地図）



講師：岩原 千絵さん

精神科医（久里浜医療センター）（裏面にプロフィール）

体験談：断酒修養会メンバー

参加無料

※新型コロナの影響により中止になる可能性がありますので、参加予定の方は前日までに矯風会にご連絡ください。



共催：公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会、一般財団法人日本禁酒同盟  
問合せ：電話 03-3361-0934 FAX 03-3361-1160（きょうふかい）

講師紹介

岩原 千絵 (いわはら ちえ)



1998年に信州大学を卒業後、東京女子医科大学精神神経科に入局。埼玉医科大学総合医療センター、成増厚生病院等を経て、2014年から久里浜医療センターに勤務。2020年から医長。病棟では女性スタッフのみによる女性アルコールユニットを担当している。

○専門領域

・アルコール依存症 ・認知症 ・一般精神医学

○認定資格

・精神保健指定医 ・日本精神神経学会専門医・指導医 ・日本認知症学会専門医、指導医 ・産業医

○所属学会、委員会、役職等

・厚生労働省 健康局 健康課 参与 アルコール対策担当（アルコール専門官）2015～2017年  
・日本精神神経学会 ・日本認知症学会 ・日本アルコール関連問題学会  
・日本アルコール・アディクション医学会

久里浜医療センターとは…

神奈川県横須賀市にあり、1963年、日本で初めて開放型のアルコール専門病棟を設置した。

アルコール依存症者を「アル中」と呼び、〈意思が弱い人〉扱っていた時代に、依存症は病気であるという視点で、依存症問題の治療・研究に取りくんできた。アルコール依存症回復者の間では、「久里浜大学」と言われるほどの基幹病院となっている。

現在は、ギャンブル依存、ネット・ゲーム障害の外来もあり、たびたびメディアに取り上げられて注目されている。

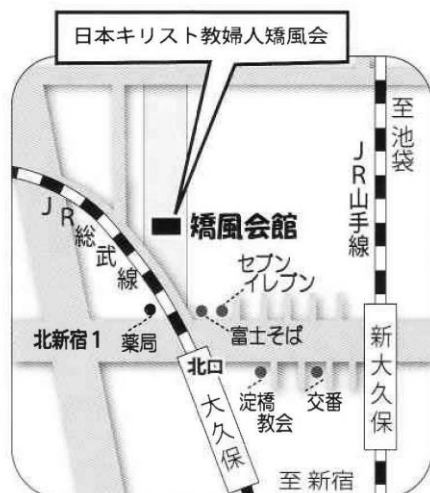


公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

米国の禁酒運動に端を発すが、女性の地位向上をめざす矯風会という名称で1886年に発足。創設期のメンバーは、禁酒同盟のあゆみに登場する者多数あり。2012年に公益移行後は、女性の人権と福祉を活動の柱として、女性と子どもが安全に生きられる社会の実現という視点で、アディクション問題にも取り組んでいる。DV女性のシェルターを都内某所で運営。東京都新宿区百人町2-23-5 電話03-3361-0934

一般財団法人日本禁酒同盟

日本禁酒同盟は、1887（明治20）年、東京・横浜の禁酒会の活動を母体として発足。一貫して酒害の啓発と予防教育に取り組み、アルコール依存症当事者たちの例会〈断酒修養会〉とも連携してきた。2012年に一般財団法人に移行。断酒修養会メンバーの体験談をまとめた『初の断酒会を拓き断酒修養会を営む』を発行（2016年）。武蔵野市に資料館を有す。東京都武蔵野市西久保1丁目8-2 電話0422-54-8555



JR大久保駅北口下車 徒歩2分。  
改札を出たら道路（大久保通り）を渡る。  
ドラッグストアと富士そばの間の細い道に入る。  
頭上にはJRのガードあり。  
約20メートル先の右手の  
クリーム色4階建ての建物が矯風会館。

JR新大久保駅からは徒歩5分。

※会場の都合上、濡れた傘は入り口にてお預かりいたします。ご了承ください。